**2026年 5 月(第8版)
*2026年 4 月(第7版)
医療機器認証番号:230ABBZX00096000

歯科材料 05　歯科用接着充填材料
管理医療機器　歯科接着用レジンセメント　70836002

SA ルーティング® Multi（スリム用）

**ミキシングチップ スリム、エンドチップの再使用禁止

**【禁忌・禁止】
・本品又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
・ミキシングチップ スリム、エンドチップの再使用禁止

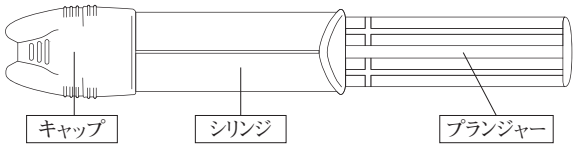
*【形状・構造及び原理等】

構成品	形状	組成
Aペースト	ペースト	フィラー(表面処理バリウムガラス、表面処理シリカ系マイクロフィラー)、モノマー(Bis-GMA、TEGDMA、リン酸エステル系モノマー:MDP®、HEMA、その他のメタクリル酸系モノマー)、化学重合触媒、光重合触媒、着色剤、安定剤
Bペースト	ペースト	フィラー(表面処理バリウムガラス、酸化アルミニウム、表面処理フッ化ナトリウム) メタクリル酸系モノマー、シランカップリング剤、重合促進剤、光重合触媒、亜硫酸塩、安定剤

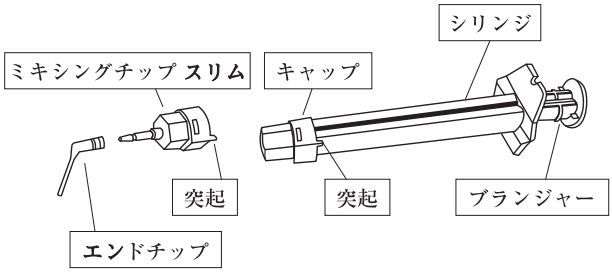
色調:ユニバーサル、ホワイト、トランスルーセント

[付属品]
<ハンドミックス>
練和紙、練和棒
**<オートミックス>
ミキシングチップ スリム、エンドチップ

[各部の名称]
<ハンドミックス>



**<オートミックス>



本品に同梱されている構成品等についてはパッケージの記載をご参照ください。

**[作動・動作原理等]
本品は、デュアルキュア型の硬化特性を有し、可視光線光エネルギーによる光重合反応及び過酸化物と還元剤による化学重合反応により硬化します。ペーストを手で練和するハンドミックス(標準型)とミキシングチップ スリムにて練和するオートミックス(自動練和型)があります。
〔JIS T 6611 タイプ1(歯との接着性あり)・クラス3(デュアルキュア型)/X線造影性は同じ厚さのアルミニウム以上〕

項目	仕様	試験方法
接着強さ	牛歯象牙質 2MPa以上	JIS T 6611 引張試験準用

【使用目的又は効果】
[使用目的]
歯科修復物・歯科修復材・歯科装置・口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

[使用用途]
1)クラウン、ブリッジ、インレー、アンレーの接着
2)インプラントアバットメント又はフレーム上への補綴装置の接着
3)接着ブリッジ、接着スプリントの接着
4)コア、ポストの接着
5)接着アマルガム修復

【使用方法等】
併用する材料について
本品と併用する材料は次のとおりです。
使用方法については、下記製品の注意事項等情報(電子添文等)にしたがってください。
(1)リン酸エッチング材
歯科用エッチング材(例えば「K エッチャント シリンジ」)
(2)セラミックス処理材
歯科セラミックス用接着材料(例えば「クリアフィル® セラミック プライマー プラス」)
(3)ポスト
歯科根管用ポスト成形品(例えば「クリアフィル® AD ファイバーポスト II」)
(4)支台築造用コンポジットレジン
歯科用支台築造材料(例えば「クリアフィル® DC コア オートミックス® ONE」)
(5)組み合わせ接着材
組み合わせ使用可能な歯科用象牙質接着材:「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick 2」(医療機器認証番号:305ABBZX00012000)
本文中の「クリアフィル® ユニバーサルボンド Quick 2」を「組み合わせ接着材」と記載する。
**オートミックスを使用する場合は、以下の歯科用器具と使用してください。
(6)歯科用錬成器具
歯科用錬成器具「ミキシングチップ スリム」
(製造販売届出番号: 15B1X10001990004)

歯科重合用光照射器について
本品の重合で使用する歯科重合用光照射器及び本品への照射時間は下表のとおりです。

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500mW/cm²以上	(3秒又は5秒)×2回
LED照射器		800～1400mW/cm²	10秒
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400mW/cm²以上	10秒

・LED照射器:光源が青色LEDで発光スペクトルのピークトップが450～480nm
・ハロゲン照射器:有効波長域が400～515nm

光量については各照射器の電子添文又は取扱説明書等を確認してください。

取扱説明書を必ずご参照ください

操作時間、硬化時間について

操作時間、硬化時間は周囲の環境や温度により異なります。温度による操作時間、硬化時間の目安は下表のとおりです。

操作時間(23℃)	ハンドミックス	2分
	オートミックス	1分
窩洞に塗布・注入した場合の操作時間(37℃) (「組み合わせ接着材」を併用した場合)		40秒 (30秒)
余剰セメントの除去		
光照射による方法 (「組み合わせ接着材」を併用した場合)		2～5秒 (1～2秒)
化学硬化による方法	37℃	2～4分
	23℃	5～7分
最終硬化		
光照射による方法		10秒[1)]
化学硬化による方法	37℃	5分
	23℃	12分
支台歯形成(コア、ポストの場合)	装着又は植立から10分	

1) 光量800～1400mW/cm²のLED照射器を使用した場合

本文書中に記載の硬化時間は、特に指定がない場合、口腔内(37℃)での使用を想定した時間です。

シリンジ及び付属品の準備

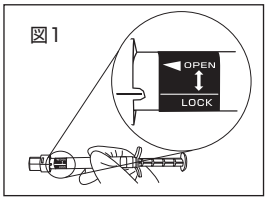
<ハンドミックス>

キャップを取り外して、シリンジのプランジャーを押し、少量のペーストを押し出してAペーストとBペーストが均等に出ることを確認します。

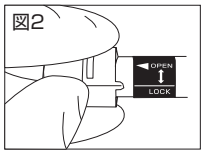
**<オートミックス>

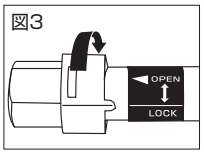
1) キャップの取り外し

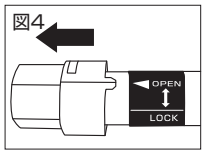
①ラベルに印刷されている「OPEN↔LOCK」の表示が見える向きでシリンジを持ちます(図1)。



②キャップを図2のように持ち、キャップの突起をLOCKからOPENの方向に◀印まで回転させてロックを解除します(図3)。突起と◀印が合う位置でキャップを水平に引っ張って取り外します(図4)。キャップ及びシリンジが破損するおそれがあるため、OPEN位置以上に回転させないでください。

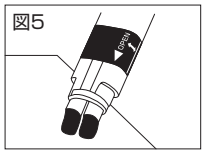






2) ペーストの頭出し

製品開封後初めて使用する際は、図5のように練和紙等にゆっくりと少量ペーストを押し出し、AペーストとBペーストが均等に出ることを確認します。均等に出ていない場合、硬化不良を起こすことがあります。また、勢いよくペーストが飛び出ることがあるため、プランジャーは徐々に力をかけてゆっくりと押してください。



3) ミキシングチップ スリムの装着

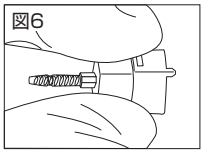
①ミキシングチップ スリムを図6のように持ち、ミキシングチップ スリムの突起を図7のようにラベルの◀印に合わせて奥まで押し込みます。破損のおそれがあるため、押し込む際にミキシングチップ スリムの先端は持たないでください。

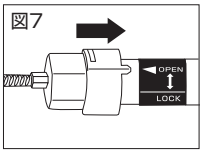
②ミキシングチップ スリムをLOCKの方向に手応えを感じるまで回転させてロックします。確実に装着されているとLOCK位置を示す線と突起が合います(図8)。ミキシングチップ スリム及びシリンジが破損するおそれがあるため、LOCK位置以上に回転させないでください。

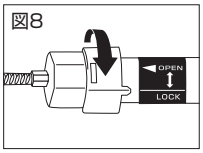
エンドチップを用いる場合

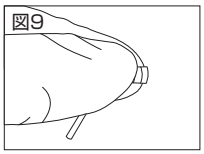
図9のようにエンドチップの根元を持ち、ミキシングチップ スリムにカチッと音がするまで強く押し込んで確実に装着します(図10)。

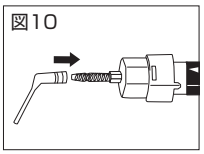
また、エンドチップの先端を曲げないでください。ペースト押し出し時に気泡を巻き込むおそれがあります。





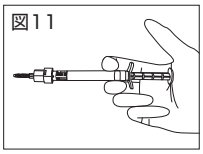




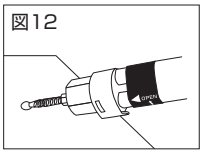


4) ペーストの試し出し

①ミキシングチップ スリム(及びエンドチップ)を装着した状態でプランジャーを操作してペーストを押し出します(図11)。



②図12のように練和紙等に米粒大のペーストを採取し、均一に練和されていることを確認してからご使用ください。採取したペーストは廃棄してください。また、ペーストの試し出しは、使用の直前に行ってください。



使用方法A

下記用途での使用方法です。

1) クラウン、ブリッジ、インレー、アンレーの接着
2) インプラントアバットメント又はフレーム上への補綴装置の接着
3) 接着ブリッジ、接着スプリントの接着

(1) シリンジ及び付属品の準備

「シリンジ及び付属品の準備」にしたがい、シリンジ及び付属品を準備します。

(2) 窩洞・支台歯・インプラントアバットメント、フレームの前処理

①窩洞・支台歯の場合、通法にしたがい仮封材・仮着材を除去します。

②被着面の清掃、防湿を行います。

③補綴装置を試適し、窩洞、支台歯、インプラントアバットメント又はフレームとの適合性を確認します。

未切削のエナメル質への接着を行う場合や接着ブリッジ等エナメル質に接着の維持を求める場合

エナメル質のみをリン酸エッチング材の電子添文にしたがって、10秒間処理後、水洗・乾燥を行います。但し、生活歯の象牙質にリン酸エッチング処理は行わないでください。

(3) 補綴装置の前処理

補綴装置の電子添文にしたがい、前処理します。補綴装置による指定がない場合は、下記の方法を推奨します。

被着面が無機物フィラーを含むレジン系材料(例えば「カタナ® アベンシア® ブロック 2」)、シリカ系ガラスセラミックス、歯科用陶材の場合

30～50μmのアルミナ粒子を用いて0.1～0.2MPa(1～2kgf/cm²)の空気圧でサンドブラスト処理を行い、被着面を粗造化します。空気圧は補綴装置の材質及び形状に応じて、チッピングに注意しながら適宜調節してください。その後、超音波洗浄を2分行い、エアーブローで乾燥します。

[サンドブラスト処理後に試適した場合には、リン酸エッチング材等を電子添文にしたがって処理し(リン酸エッチング材は5秒間処理)、水洗・乾燥を行います。]

[無機物フィラーを含むレジン系材料には、セラミックス処理材を電子添文にしたがい適用することも可能です。]

被着面が金属、ジルコニア/アルミナ等の金属酸化物系セラミックスの場合

30～50μmのアルミナ粒子を用いて0.1～0.4MPa(1～4kgf/cm²)の空気圧でサンドブラスト処理を行い、被着面を粗造化します。空気圧は補綴装置の材質及び形状に応じて、チッピングに注意しながら適宜調節してください。その後、超音波洗浄を2分行い、エアーブローで乾燥します。

［サンドブラスト処理後に試適した場合には、リン酸エッチング材等を電子添文にしたがって処理し（リン酸エッチング材は5秒間処理）、水洗・乾燥を行います。］

(4) ペーストの練和及び塗布

＜ハンドミックス＞

①シリンジのプランジャーを押し、AペーストとBペーストを練和紙上に等量採取します。専用の練和紙を使用する場合、採取の目安はクラウン1個分で1目盛り（5mm）です。

②練和紙上で10秒練和します。操作時間は室温（23℃）、遮光下で練和開始から2分以内です。室内の温度が高い場合や光が当たると操作時間は短くなります。

③被着面全体又は窩洞内に練和したセメントを塗布します。セメントを窩洞内に塗布した場合は、40秒以内（「組み合わせ接着材」を塗布した場合は30秒以内）に下記（5）の操作を行ってください。

**＜オートミックス＞

シリンジのプランジャーを押して、セメントを押し出し、気泡を巻き込まないよう被着面全体もしくは窩洞内に塗布します。操作時間は室温（23℃）、遮光下で1分以内です。セメントを窩洞内に塗布した場合は、40秒以内（「組み合わせ接着材」を併用した場合は30秒以内）に下記（5）の操作を行なってください。なお、直接口腔内で使用する場合は、交差感染を防ぐため、必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジの全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意してください。また、使用前にシリンジ、ミキシングチップ スリム及びエンドチップを、使用後にシリンジをアルコール綿球で拭いて消毒してください。

（より高い接着を求める場合はセメントの塗布前に「組み合わせ接着材」を電子添文にしたがって窩洞・支台歯に処理してください。）

(5) 補綴装置の装着

補綴装置を窩洞・支台歯・インプラントアバットメント又はフレームに装着します。

(6) 余剰セメントの除去

下記のいずれかの方法で余剰セメントを除去します。

光照射による方法

余剰セメントに1ヶ所につき2～5秒光照射を行った後、補綴装置が動かないように押さえながら半硬化した余剰セメントを探針等で除去します。

なお、半硬化までの時間は照射器の種類や光量により異なるため、練和したセメントに光照射して事前に確認してから、適宜調節してください。

（なお、「組み合わせ接着材」を併用した場合、ボンドの硬化促進効果でセメントの光硬化が速くなります。事前に確認した上で、余剰セメント除去の際の光照射時間を1～2秒にする、又は離れた位置から光照射を行う等、適宜調整して下さい。）

化学硬化による方法

補綴装置の装着から2～4分後（37℃）、補綴装置が動かないように押さえながら半硬化した余剰セメントを探針等で除去します。半硬化までの時間は温度により異なりますので、「操作時間、硬化時間について」を参照してください。なお、セメントは嫌気硬化性により表面に未重合層が残り半硬化しないことがあります。その場合は、余剰セメントを拭き取ってからマージン部に対して「歯科重合用光照射器について」を参考にして光照射を行います。

(7) 最終硬化

下記のいずれかの方法で最終硬化させます。

光を透過しない補綴装置の場合

補綴装置の装着後、5分保持し化学硬化させます。

装着後の保持時間（37℃）	5分

光を透過する補綴装置の場合

「歯科重合用光照射器について」を参考にして補綴装置全体及びマージン部に光照射を行います。1回の光照射で、硬化させる部位全てが照射径に入らない場合は、光照射を繰り返して全ての部位に対して光照射を行ってください。

使用方法B

下記用途での使用方法です。

4) コア、ポストの接着

(1) シリンジ及び付属品の準備

「シリンジ及び付属品の準備」にしたがい、シリンジ及び付属品を準備します。

(2) 築造窩洞の形成、コア又はポストの試適

①通法にしたがい根管形成、根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。

②形成した築造窩洞にコア又は適切な太さのポストを試適します。ポストの場合は必要に応じて切断してください。

③エタノールを染み込ませたガーゼやワッテ等で汚れを拭き取ります。

(3) コア又はポストのサンドブラスト処理

「使用方法A （3）補綴装置の前処理」にしたがい、コア又はポストにサンドブラスト処理を行います。グラスファイバーポストは損傷を避けるためサンドブラスト処理は行いません。

(4) ペーストの練和及び塗布

＜ハンドミックス＞

①シリンジのプランジャーを押し、AペーストとBペーストを練和紙上に等量採取します。

②練和紙上で10秒練和します。

操作時間は室温（23℃）、遮光下で練和開始から2分以内です。室内の温度が高い場合や光が当たると操作時間は短くなります。

③コアの被着面又はポストに練和したセメントを塗布、もしくは使用するCRシリンジの電子添文にしたがい築造窩洞内に注入します。セメントを築造窩洞内に注入した場合は、40秒以内（「組み合わせ接着材」を併用した場合は30秒以内）に下記（5）の操作を行ってください。

**＜オートミックス＞

シリンジのプランジャーを押して、セメントを押し出し、気泡を巻き込まないようコアの被着面又はポスト、もしくは築造窩洞内に塗布又は注入します。操作時間は室温（23℃）、遮光下で1分以内です。セメントを築造窩洞内に注入した場合は、40秒以内（「組み合わせ接着材」を併用した場合は30秒以内）に下記（5）の操作を行なってください。なお、直接口腔内で使用する場合は、交差感染を防ぐため、必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジの全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意してください。また、使用前にシリンジ、ミキシングチップ スリム及びエンドチップを、使用後にシリンジをアルコール綿球で拭いて消毒してください。

（より高い接着を求める場合はセメントの塗布前に「組み合わせ接着材」を電子添文にしたがって築造窩洞内に処理してください。）

(5) コア又はポストの装着

コア又はポストを手早く築造窩洞に挿入します。この際、築造窩洞内に気泡が入らないようにコア又はポストを軽く揺すりながら挿入します。

(6) 余剰セメントの処置

コアの場合

「使用方法A （6）余剰セメントの除去」にしたがい、余剰セメントを除去します。

ポストの場合

はみ出した余剰セメントを小筆等で残存歯冠やポストのヘッド部に薄く広げます。

(7) 光照射

残存歯冠やコア、ポストのヘッド部に対して、各面につき、「歯科重合用光照射器について」にしたがい光照射を行います。

1回の光照射で、光硬化させる部位全てが照射径に入らない場合は、光照射を繰り返して全ての部位に対して光照射を行ってください。

(8) 支台歯形成

コアの場合

支台歯形成はコアの装着から10分以上経過した後、十分に硬化させてから行います。

ポストの場合

①植立後、支台築造用コンポジットレジンを電子添文にしたがい築盛します。

②支台歯形成はポストの植立から10分以上経過した後、十分に硬化させてから行ないます。

支台歯形成開始（37℃）	装着又は植立から10分以上経過後

使用方法C

下記用途での使用方法です。

5) 接着アマルガム修復

(1) シリンジ及び付属品の準備

「シリンジ及び付属品の準備」にしたがい、シリンジ及び付属品を準備します。

(2)窩洞の前処理
通法にしたがい、仮封材・仮着材を除去し、窩洞の清掃、防湿を行います。
(3)ペーストの練和及び塗布
「使用方法A (4)ペーストの練和及び塗布」にしたがい、ペーストを練和し、窩洞内に薄くセメントを塗布します。
(4)接着アマルガム修復
練和したアマルガム泥を電子添文にしたがって窩洞内に速やかに充填し、アマルガムの形態を整えます。
(5)余剰セメントの除去
「使用方法A (6)余剰セメントの除去」と同様の方法で余剰セメントを除去します。
(6)最終硬化及び仕上げ
「使用方法A (7)最終硬化」と同様の方法でセメントを硬化させた後、通法にしたがい仕上げを行います。

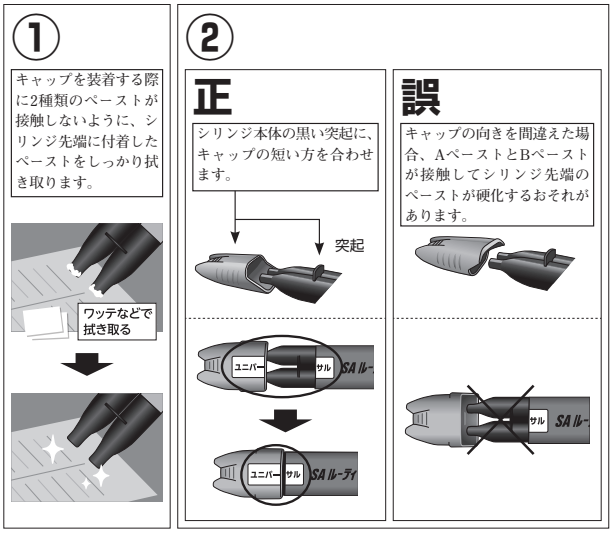
[使用方法に関連する使用上の注意]

本品に関する使用上の注意

①冷蔵庫に保管する場合、取り出し直後はペースト性状が固いため、また、結露による水分混入を防ぐため、室温に15分以上放置してから使用すること。
②使用間隔が長く空いた場合、シリンジ先端部のペーストが固くなっている場合がありますが、先端部のみの現象ですので、固くなった部分のペーストを廃棄して使用すること。
③セメントを築造窩洞に注入する場合、歯科用ペーストキャリア(レンツロ充填器)を使用しないこと。硬化が過剰に促進されるおそれがあります。
④キャップやシリンジ先端にペーストが付着した場合は、乾いたガーゼ等で拭き取ってから、キャップを装着すること。先端にペーストが付着した状態でキャップを装着した場合、2種類のペーストが接触し、先端が硬化するおそれがあります。
⑤余剰セメントを半硬化させて除去する際は補綴装置を押さえながら行うこと。補綴装置内面は充分に硬化していないので、浮き上がるおそれがあります。特に、フロスを用いて除去する場合は、補綴装置が浮き上がらない方向にフロスを抜いてください。
⑥余剰セメントを「化学硬化による方法」により除去する際に、セメントは嫌気硬化性により表面に未重合層が残り半硬化しないことがあります。その場合は、余剰セメントを拭き取ってからマージン部に対して「歯科重合用光照射器について」を参考に光照射を行います。
⑦臼歯の複数の根管にそれぞれ歯科用ポストを植立する場合、溢れたセメントが他の根管に流れ込まないようにすること。
⑧接着操作時には口腔に対するデンタルライトの角度や距離の調整などの光量を下げる処置を行うこと。強い光量が当たると硬化する場合があります。
⑨「組み合わせ接着材」を併用した場合はボンドの硬化促進効果でセメントの光硬化が速くなります。余剰セメント除去の際の光照射時間を短くする、又は離れた位置から光照射を行う等、事前に確認した上で適宜調整してください。

<ハンドミックス>に関する使用上の注意

①AペーストとBペーストの練和時に水滴が混入すると操作時間が著しく短くなる場合があるため、練和紙、練和棒に水滴が付着している場合は、拭き取ってから使用すること。また、結露による水分混入をさけるため、練和紙および練和棒は、冷蔵庫に保管しないでください。
②セメントを窩洞に塗布・注入する場合は、塗布・注入から40秒以内(「組み合わせ接着材」を併用した場合は30秒以内)に接着操作を行うこと。特にコアや歯科用ポストの装着においてCRシリンジを用いて直接窩洞内に注入した場合は、手早く装着・植立を行ってください。口腔内の温度及び窩洞内の水分との接触でセメントの硬化が促進されるおそれがあります。
③AペーストとBペーストが等量採取できていることを確認してから使用すること。
④ペーストの採取後にすぐに練和しない場合は、必ず遮光板を使用すること。
⑤ペーストの練和後は速やかに使用すること。操作時間は遮光下、室温(23℃)で練和開始から2分以内です。室内の温度が高い場合や光が当たった場合、操作時間は短くなります。
⑥ペーストが均一になるよう10秒間しっかりと練和すること。練和が不十分な場合、硬化しないおそれがあります。
⑦ペースト採取後は、シリンジ先端に付着したペーストをしっかり拭き取り、下図のとおり正しい向きでキャップを装着すること。先端にペーストが付着した状態でキャップを装着した場合、2種類のペーストが接触し、先端が硬化するおそれがあります。



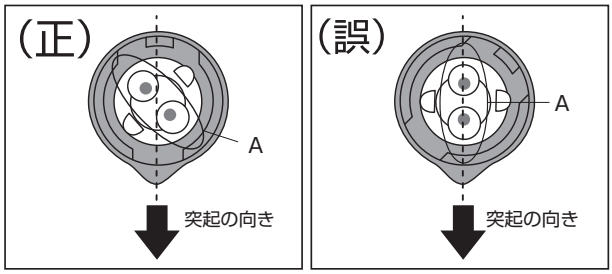
**<オートミックス>に関する使用上の注意

①ミキシングチップ スリムまたはキャップを脱着する際、OPEN位置以上に回転させないこと。また、ミキシングチップ スリムまたはキャップを装着する際、必ずLOCK位置まで回転させて確実にロックすること。この時、LOCK位置以上に回転させないこと。破損のおそれがあります。
②エンドチップを用いる場合は、ミキシングチップ スリムにカチッと音がするまで強く押し込んで確実に装着すること。装着不良の場合、使用時にエンドチップが外れ、ペーストが飛び出るおそれがあります。
③エンドチップは、未使用のミキシングチップ スリムに装着してからペーストを押し出すこと。装着不良のおそれがあるため、使用済みのミキシングチップ スリムに後からエンドチップを装着しないでください。
④プランジャーは中心部分を押し、端部を押さないこと。2つのペーストが均等に出ないおそれがあります。
⑤初めて本品を使用する際は、ミキシングチップ スリム及びエンドチップを装着する前にペーストの頭出しを行い、AペーストとBペーストが等量採取できていることを確認してから使用すること。また、勢いよくペーストが飛び出ることがあるため、プランジャーは徐々に力をかけてゆっくりと押すこと。ペーストを出し過ぎるとペースト同士が接触し固化するおそれがあります。
⑥ミキシングチップ スリムの装着の際、破損のおそれがあるため、チップの先端は持たないこと。
⑦エンドチップの先端を曲げないこと。ペースト押し出し時に気泡を巻き込むおそれがあります。
⑧エンドチップはミキシングチップ スリム以外に装着して使用しないこと。
⑨ペーストの試し出しは、使用の直前に行うこと。また、試し出しで採取したペーストは廃棄すること。
⑩練和開始後はミキシングチップ スリム及びエンドチップの透明な部分にデンタルライト等の強い光が当たらないように注意すること。強い光が当たると、チップ内のペーストが硬化する場合や操作時間が短くなるおそれがあります。
⑪セメントを窩洞に塗布・注入する場合は、塗布・注入から40秒以内(「組み合わせ接着材」を併用した場合は30秒以内)に接着操作を行うこと。口腔内の温度および窩洞内の水分との接触でセメントの硬化が促進されるおそれがあります。
⑫直接口腔内で使用する場合は、交差感染を防ぐため、必ずポリ袋等の保護カバーでシリンジの全体を覆い、唾液・血液等が接触しないように注意してください。また、使用前にシリンジ、ミキシングチップ スリム、エンドチップをアルコール綿球で拭い消毒してください。
⑬複数の補綴装置を接着させる場合、最初の押し出しから1分以内に、全ての補綴装置への適用を行うこと。1分以上の時間を要する場合は、新しいミキシングチップ スリム・エンドチップに付け替えてご使用ください。
⑭交差感染を防ぐため、ミキシングチップ スリムとエンドチップの再使用は行わないでください。
⑮シリンジ先端に付着したペーストは、ガーゼ等でしっかり拭き取ること。

⑯使用後はキャップを再装着して保管すること。
口腔外で使用した場合は、使用したミキシングチップ スリムを装着したまま保管することも可能です。その場合、付着したペーストを拭き取り、ミキシングチップ スリムをアルコール綿球で拭いて消毒してください。次回使用する際は、新しいミキシングチップ スリムを装着すること。直接口腔内で使用した場合は、使用したチップ類を廃棄し、キャップを再装着して保管すること。

**ミキシングチップ スリムに関する使用上の注意
ミキシングチップ スリムを装着する際は、下図のAが(正)の位置にあることを必ず確認してからご使用ください。Aが(誤)のように回転している場合、ミキシングチップ スリムとシリンジは正しく装着できません。なお、シリンジにミキシングチップ スリムを装着する前にエンドチップを装着し、回転させた場合、まれにAが回転することがあります。その場合は、Aを(正)の位置に戻してからご使用ください。

ミキシングチップ スリムをシリンジ装着側から見た図



光照射に関する使用上の注意
①本品の使用前に「歯科重合用光照射器について」を参考にして使用する照射器で練和したセメントに光照射して硬化時間等を事前に確認すること。
②照射口はできるだけ修復部位に近接させて、修復部位に垂直に保持し照射すること。また、硬化させる面積が歯科重合用光照射器の口径より大きい場合には、何ヶ所かに区分して分割照射を行うこと。

【使用上の注意】
(1)使用注意
①本品を仮着用セメントとして使用しないこと。
②必要に応じてラバーダム等の防湿処置を行うこと。
③覆髄を必要とする場合には、水酸化カルシウム系の覆髄材などを用いて覆罩等の処置を行うこと。
④覆罩、仮封・仮着にはユージノール系の材料は、使用しないこと。硬化不良を起こす場合があります。
⑤過酸化水素水は接着強さの低下を招くおそれがあるので窩洞清掃に使用しないこと。
⑥硫酸鉄系の止血剤は本品を変色させ、接着強さの低下を招くおそれがあるので使用しないこと。
⑦塩化アルミニウム配合の止血剤を使用する場合は、最小限の使用に留め、被着面には触れないように注意すること。塩化アルミニウム配合の止血剤が被着面に触れると接着強さが低下するおそれがあります。
⑧窩洞内にアマルガム又は裏装材が残存していると、本品と窩洞の接着を妨げるので、窩洞形成時に完全に除去すること。
⑨窩洞清掃が不十分な場合、接着強さが低下するおそれがあるため十分に清掃すること。唾液、血液等で被着面が汚れた場合は、水洗等の清掃を行い乾燥した後に、装着させること。
⑩他の材料と練和して使用しないこと。
⑪誤飲させないように注意すること。
*⑫亜硫酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者には慎重に適用すること。
(2)重要な基本的注意
①本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、専門医の診断を受けさせること。
②本品に対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本品に触れないようにすること。また、本品の使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し、専門医の診断を受けること。
③本品が口腔軟組織や皮膚に付着することがないよう、また目に入らないように注意すること。口腔軟組織、皮膚に付着した場合には、アルコール綿球等で拭き取り、多量の水で洗浄すること。また、目に入った場合には、ただちに多量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
④本品が付着した粘膜面は若干白くなることがありますが、モノマーの蛋白凝固作用による上皮組織への一過性の現象で、白化は短期間で消失します。患者に対しては、ブラッシング等で白化した部位に刺激を与えないように説明してください。
*(3)その他の注意
①本品は有効成分又は添加剤として亜硫酸塩を含有している。喘息患者では非喘息患者よりも亜硫酸塩に対する過敏症が多く認められるとの報告がある。

【保管方法及び有効期間等】
[保管方法]
本品は、2～25℃で保管し、直射日光、デンタルライト等の強い光が当たる場所に置かないこと。

*[有効期間]
・本品は包装に記載の使用期限※までに使用すること。
※(例 YYYY-MM-DD は使用期限YYYY年MM月DD日 を示す。)
[記載の使用期限は自己認証(当社データ)による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称】
製造販売元:
クラレノリタケ デンタル株式会社
〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28
フリーダイヤル:0120-330922

販売元:
株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL(06)6380-2525
〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL(03)3834-6161

「SA ルーティング」、「MDP」、「クリアフィル」、「アペンシア」及び「オートミックス」は株式会社クラレの登録商標です。
「カタナ」はノリタケ株式会社の登録商標です。